

Goal 9

産業と技術革新の基盤をつくろう

INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



●この目標(Goal)の解説

生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠な社会基盤（インフラ）を整備することで、以前は取り組めなかった貧困、教育、医療アクセス等の諸課題の対処・福祉の増進を目指す目標。

インフラとは、生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠な社会基盤、公共の福祉を目的として、整備・提供される施設のことを指します。

（例：道路、鉄道、上下水道、電気、電話網、通信網、学校、病院、湾港、ダム）

現在、世界には約26億人が不安な電力供給の中で生きていたり、約8億人が安定して水を得られない生活をしています。インフラ整備の不足によって、子どもが井戸から水を汲むために学校へ通えなかったり、産業化の遅れとともに経済成長も遅れてしまう等の問題が起きています。

【基礎インフラの整備によって】

「生活水準の向上」と「持続可能な産業発展に繋がる技術革新」の実現を目指します。

【インフラ整備で実現することの例】

- ・上下水道の整備で安全な水の確保が簡単になり…
子どもが学校に行けるようになったり、大人が働く時間を作ることができます。
不衛生な水を飲まずに済み、病気のリスクを下げることに繋がります。
- ・電気、電話網、通信網が整備されることで…
インターネット等を活用した技術革新が可能になり、産業化と雇用増加に繋がります。



不安定なインフラ
揺れる生活

●大学生協での実践事例



東京工業大学生協 研究室紹介冊子LANDFALL

大学生の一番の悩みといえば、研究室（ゼミ）選びです。未来の技術者を支えるために、東工大の研究室の実態や研究内容を紹介する冊子を作っています。また、この冊子は、組合員自身が自分たちで研究室に足を運び、教職員の方々と直接話を伺うことで、公正公平な情報を自分たちの仲間のために発信することを心がけています。産業と技術革新の基盤をつくっていく、研究生の生活を支えるための取り組みです。



大阪大学生協 System Solution Team

学生が大学生協の事業環境に身を置き、具体的なミッションを持ち、目標数値管理を行い、成功体験を獲得することで社会経験を積むインターンシップ制度として学生自身がシステム開発を行っています。プログラミングを通じて実際に大学内で稼働するシステムを開発し、かつ社会人基礎スキルを身に付ける機会となっています。開発したシステムは、大学の校費に関するシステムなど、大学・大学生協を支えるものになっています。



●この目標に対して私たちができること

🎯私たちができること／自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！